

平成4年度研究評価委員会

平成4年度の研究評価委員会が、平成5年3月8日（月）に所長室において、以下に掲げる委員全員の出席のもと開催された。

委員長：岡崎陽一（日本大学教授）、委員：大淵寛（中央大学教授）、濱英彦（成城大学教授）、村松稔（元国立公衆衛生院部長）、森岡清美（成城大学教授）、河野稠果（所長）、阿藤誠（人口政策研究部長）、廣嶋清志（人口構造研究部長）、伊藤達也（人口動向研究部長）、金子武治（人口情報部長）。なお、書記として高橋重郷（人口政策研究室長）、事務局代表として竹内朕（庶務課長）が出席した。

議 題

1. 新規研究プロジェクトに関する事前審査

平成5年度から始まる新規研究について、2課題の報告があった。第1の課題について、阿藤人口政策研究部長から「開発途上国の人口増加が地球環境に及ぼす影響に関する研究」の概要が説明された。また、第2の課題について、伊藤人口動向研究部長から「家庭機能の動向とその要因に関する研究」の概要が説明された。

2. 人口構造研究部の研究実施状況報告

廣嶋人口構造研究部長から、人口構造研究部の主要な研究課題と実施状況について、以下の研究課題別に報告があった。それらは、①都道府県別将来推計人口、②日本の世帯数の将来推計、③地域人口移動に関する調査研究、④世帯構造変動に関する人口学的調査研究、⑤高齢者の居住状態予測モデルの開発と応用に関する研究、⑥日本人口の地域構造に関する研究、および⑦日本の世帯構造変動に関する研究、である。

3. 人口政策研究部、人口動向研究部、人口情報部の研究概況報告

各部部长が研究概況を報告した。

4. 質疑と評価

5. 委員長による総合評価

（阿藤 誠記）

第55回人口問題審議会総会及び懇談会

人口問題審議会平成4年度第3回懇談会は、平成5年3月24日（水）午前10時30分より11時40分まで、中央合同庁舎特別第1会議室において開催され、前2回のまとめとして、阿藤誠人口問題研究所人口政策研究部長の「人口動向が社会経済に及ぼす影響について」と題する報告があり、その報告をめぐって質疑応答が行われた。

引き続き午前11時40分より12時まで総会が開催され、官房政策課長より、1994年9月にエジプトのカイロで開催される国際人口・開発会議（人口と持続可能な経済成長と開発）についての報告があった。次いで、この会議に提出する報告書作成のための特別委員会が設置され、会長から以下の6名の委員の指名があった。特別委員会において本年夏までに報告書の草案を作成し、審議会に諮ることになった。

特別委員会委員：岡崎陽一、河野稠果、袖井孝子、大淵 寛、濱 英彦、阿藤 誠

（金子武治記）